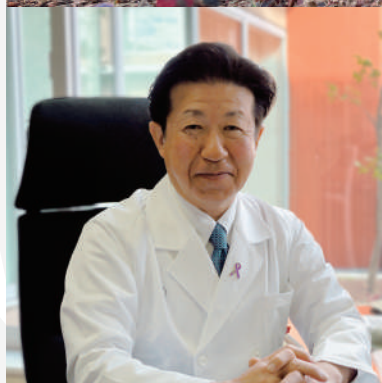


S  
Z  
E  
E  
R  
G



## 病院長就任のごあいさつ

東京女子医科大学附属八千代医療センター  
病院長  
片桐 聡 かたぎり さとし

**東**京女子医大に在籍して34年間。本院から消化器外科長として八千代医療センターに異動して、この4月に10年を迎えます。

当院は2006年12月に開院して18年間。2022年に病床拡張して500床の病院になりました。近年は救急搬送対応ヘリポート、SCU、がん関連病棟も併設。当院は八千代市の市民病院・千葉東葛南部の中核病院としての地域密着型医療を展開しつつ、大学附属病院として先進医療も進めていることが特徴です。ロボット支援手術は消化器外科、泌尿器科を中心に年間100件を超える手術を行っています。また、当院は設立時より地域からの要望が強かった救急医療、小児・周産期医療に力を入れています。現在は臨床研修指定病院、総合周産期母子医療センター、全県対応型小児連携拠点病院、地域災害拠点病院、地域医療支援病院、DPC標準病院群、小児総合医療施設、がん診療連携協力病院、DMAT指定医療機関、救命救急センター、小児救命救急センターなどの認定を受けています。昨年は日本

医療機能評価機構より、機能種別版評価項目3rdG:Ver.3.0の認定を受けました。今後も虚血性心疾患、脳血管障害、悪性新生物、糖尿病や精神疾患などの成人医療と小児周産期医療、救急医療における千葉県の中核病院として広域性・公益性を担いながら地域包括・完結型医療を行っていきます。厚生労働省が掲げた「2040年を見据えた新たな地域医療構想」に則した病院機能を目指し、対話を重視して東京女子医大としてのOne teamを形成し、患者さんが安心して医療を受けることができる環境を作っていきます。また、千葉県、八千代市、八千代医師会、八千代歯科医師会、八千代薬剤師会、八千代医療センターを支援する会と横連携を密にして千葉東葛南部の地域医療に貢献していきます。

本学は上層部を一掃し「新生東京女子医科大学」として再生に向けて踏み出しました。これからは皆さまからの信頼を取り戻すべく、まい進していきます。今後ともご支援ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



## 八千代医療センター管理栄養士のしごと

**栄**養管理室は主に臨床栄養管理業務を担う病院側の管理栄養士7名が在籍し、それぞれNST専門療法士、がん病態栄養専門管理栄養士、糖尿病療養指導士などを取得し入院患者一人ひとりに対し行う栄養アセスメントや栄養管理計画書作成、入院・外来の個人栄養指導、糖尿病教室や栄養サポートチームの運営などを行っています。食事提供業務は、パートナー企業である日清医療食品に完全委託しています。

### 【栄養アセスメント】

食物アレルギーのチェックや宗教上の食材の配慮を行い選択食やパン献立、めん献立、栄養補助食品なども適宜組み合わせ提供しながら入院生活や治療による食思不振、体重減少や低栄養への移行を防ぎ術後の早期回復、化学療法などの治療の完遂、適正な体重維持や血糖コントロール、水分管理、便性の維持・管理のため繰り返し栄養アセスメントを行い栄養介入を行っています。

### 【食事の対応】

医師の治療方針に沿って治療食としてさまざまな病態の治療に貢献し、年齢や体格、咀嚼力や嚥下機能に応じた量や形態に応じて250種類以上の食種と70種類以上のコメントを組み合わせ対応しています。

### 【栄養食事指導】

外来個人栄養指導は糖尿病、CKD、循環器疾患、消化管術後、低栄養などの疾患に対し平日午前、午後、土曜日午前に予約制で行い、当日依頼にも対応しています。

### 【診療報酬改定を踏まえて】

・急性期のADL低下防止を効果的に行うため栄養管理を単独で行う以上の効果を期待し、リハビリテーションや口腔管理を連携して実施する「リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算」など、2年前の改定に続き2024年4月の改定でも多くの栄養関連項目で評価の新設や見直しが行われ、早期離床、在院日数の短縮などへの効果が期待されています。

・栄養管理体制の基準に「退院時を含む定期的な評価を行うこと」が必要になり、また「GLIM基準を用いて栄養状態の評価を行うこと」が推奨されたことによって、定期的な体重測定や下腿周囲長の測定も必要となることから栄養サポートチームを中心に、看護部門を含む病院全体で適正な栄養管理体制を構築していくことが求められ、少しずつ取り組んでいるところです。

・医療と介護における栄養情報の連携を推進するため「栄養情報連携料」が新設されたことから、他院や施設に移られる際、栄養に関する情報を提供し、地域の皆さま方との連携に努めています。

### 【今後】

入院された患者さんが1日でも早く退院して地域に戻れるよう、また外来での栄養相談など患者さんを通して日々お世話になっている地域の先生方と引き続きつながりを深めていけるように努力いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 血液内科です

血液内科  
教授・講座主任  
瀬尾 幸子 せお さちこ

**当**院では昨年、2024年9月から血液内科初診外来を再開いたしました。

千葉県は人口に対して血液内科および血液内科医の割合が少なく、血液疾患あるいはその疑いのある患者さんが血液内科を受診することは地域によっては容易ではありません。私たちは少しでも患者さんが安心かつ、負担が少なく受診ができるよう当院での血液内科初診外来の再開に踏み切りました。

当院では白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液悪性腫瘍から、再生不良性貧血、血小板減少性紫斑病などの良性疾患まで幅広く対応しています。外来担当医師は全員血液専門医であり経験も豊富です。現在はま

だ当院での入院治療は行っていませんが、入院の必要性がある場合には責任を持って近医をご紹介します。また、少し遠くなりますが東京都新宿区の本院でも受け入れ可能であり、造血幹細胞移植からCAR-T療法といった最先端の治療を提供することが可能です。

まずはお気軽に受診していただき、それぞれの患者さんに合った治療法や治療場所を一緒に模索していけたらと考えています。ぜひ私たちに千葉にお住まいの方々の血液診療の一端を担わせていただきたく存じます。

お困りのことや、ご不明な点がございましたらいつでも地域医療連携へご連絡ください。



## 脳神経外科です

脳神経外科  
診療科長  
石黒 太一 いしぐろ たいち

**脳**神経外科では脳動脈瘤、もやもや病、頸動脈狭窄症などの脳血管疾患および脳腫瘍、てんかん、顔面けいれんなど幅広い疾患を診療しています。また、開頭手術はもちろんのこと、患者さんの負担が少ない脳血管内治療も得意としています。患者さんの健康状態、病変の特徴から、どのような治療が最適かを一人ひとり綿密に検討し最善の治療を提案できるよう努めています。

高い技術と最先端の治療が行えることが評価され、当院は千葉県内はも

ちろん全国でも有数の脳神経疾患治療施設となりつつあります。遠方からご紹介いただく患者さんも増えとても嬉しく思うと共に、地域医療を大切に脳神経疾患が疑われる患者さんを可能な限り受け入れられるよう尽力いたします。引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ぜひ当科のwebサイトもご覧ください。

<https://twmu-y-ns.jp>





## 看護師スペシャリスト会だより

**当** 院の看護師スペシャリスト(認定看護師/専門看護師/診療看護師)は「八千代医療センターを支援する市民の会」主催の健康講座に年に4回、医師と共に講師として招かれて講演をしています。関心の高い身近な健康に関するテーマで、毎回多くの市民の皆さまにご来場いただいています。次回の予定は以下の通りです。

### 第57回健康講座/寝たきりにならないための、脳卒中予防と最新治療

講師 脳神経外科診療科長/石黒 太一  
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師/佐藤 清美

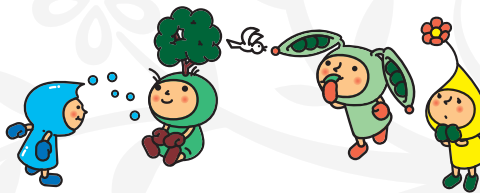
日時 2025年3/2(日) 13:00開場/14:00開演

会場 八千代緑が丘公民館5F集会ホール

主催 八千代医療センターを支援する市民の会

共催 社会福祉協議会・緑が丘支会 協賛 緑が丘長寿会

お問い合わせ 本誌記載「患者支援センター/地域連携直通」までお電話ください



**理念** 地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和

- 基本方針**
- ◆本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します
  - ◆患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します
  - ◆つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します
  - ◆患者さんに合った最善のチーム医療を行います
  - ◆中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し皆さまの健康を維持・増進します



**診察・検査連携のご予約** tel. (047)458-6543 fax (047)458-6545 (患者支援センター/地域連携直通)

受付時間 > 平日9:00~17:00/土曜日9:00~13:00

\*日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30~1/4)は休診

\*時間外の場合はfaxを送信してください。翌受付時間内にご連絡いたします

\*予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡ください

**医療連携マネージャー(医師)** 緊急を要する当日(日中)のご紹介は紹介診療科が定まっている場合、従来通り当該診療科の医師が対応いたします

担当診療科を特定できない場合は「医療連携マネージャー」が電話で対応いたします

\*受付時間と休診は上記「患者支援センター/地域連携直通」に準じます

**検査連携(医療機関から)** 応需検査 > CT、MRI(単純)、RI、XP、マンモグラフィー、骨密度測定、セファロの画像検査

\*受付時間と休診は上記「患者支援センター/地域連携直通」に準じます



東京女子医科大学附属

**八千代医療センター**

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

発行 | 東京女子医科大学附属八千代医療センター患者支援センター

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田477-96 tel. 047-450-6000(代表)

www.twmu.ac.jp/TYMC/index.html

©TYMC. All rights reserved.